

新しい交通システム導入基本計画（案）の市民説明会

平成28年9月24日（土）

午後7時から

南市民ホール

平成28年9月28日（水）

午後7時から

相模女子大学グリーンホール

（多目的ホール）

次 第

- 1 開会、あいさつ
- 2 新しい交通システム導入基本計画（案）について
- 3 質疑応答
- 4 閉 会

配布資料

・次第

・「新しい交通システム導入基本計画（案）」の市民説明会資料

新しい交通システム導入基本計画の構成

本計画の位置付け

新しい交通システムの目標

システムとルート

導入計画

事業性の検証

本計画の推進に向けて

本計画の位置付け

新しい交通システム導入検討委員会からの答申を踏まえ、市において検討を進め、「新しい交通システム導入基本計画」としてまとめたもの

総合計画、都市計画マスタープラン及び総合都市交通計画を上位計画とし、本市が目指す「将来の交通のすがた」の実現に向けて、新しい交通システムを導入するための基本的な考え方を示すもの

新しい交通システムの目標

新しい交通システムの目標

高い交通需要
に対応可能な
輸送力の実現

信頼できる
公共交通
サービス
の実現

地域の交通
アクセスの
向上の実現

自動車利用に
過度に依存し
ない交通環境
の実現

まちづくり
への貢献

システムとルート

導入区間

南部地域の拠点施設へのアクセス改善等を図る

「相模大野駅～麻溝台地区～原当麻駅」

システム

整備の容易性、需要に適した輸送力、建設コスト、段階的な運用の
自由度から比較検討
BRTを採用

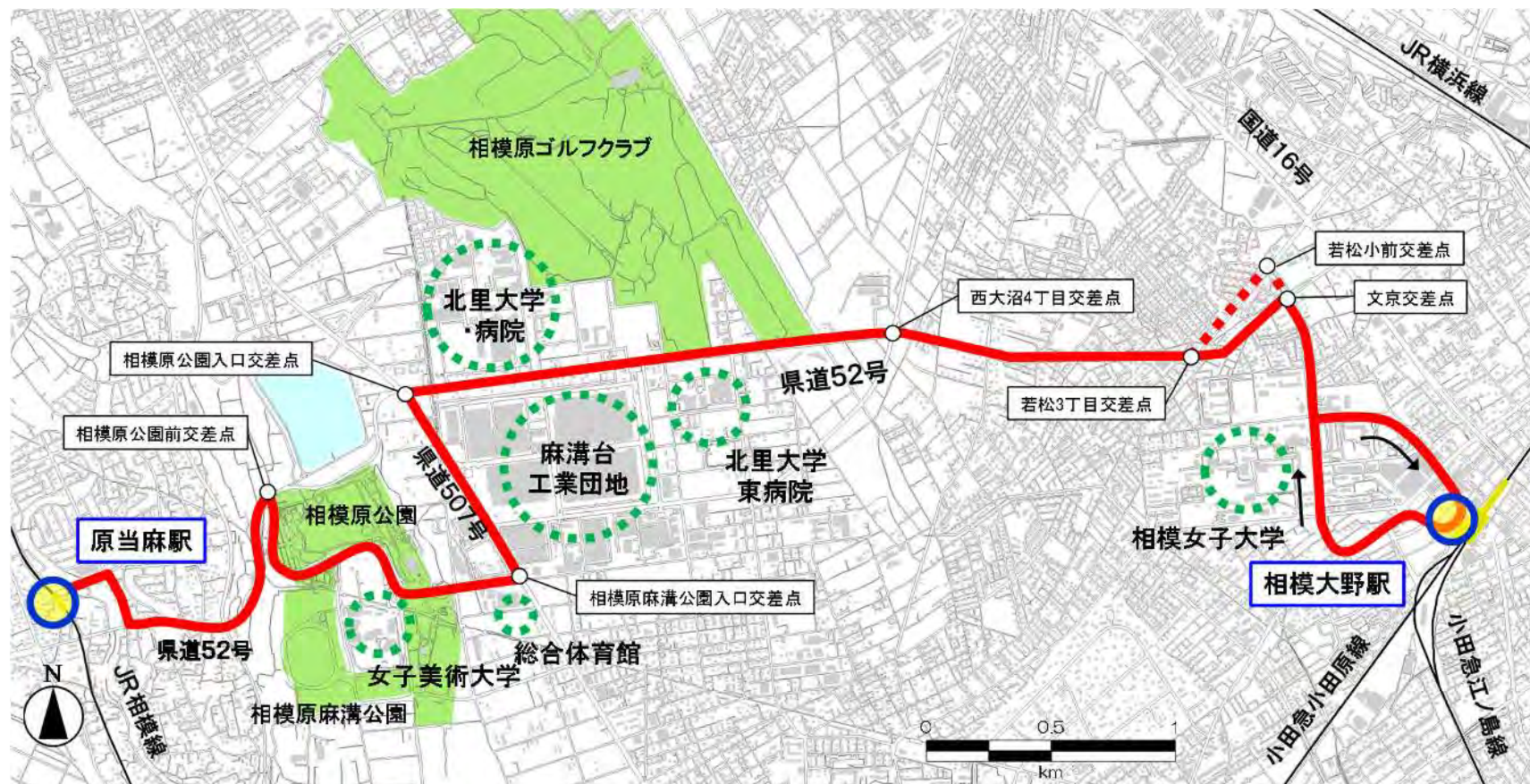
BRT【Bus Rapid Transit（幹線快速バスシステム）】

路線バスをベースとし、走行形態、車両、駅・停留所、運賃収受、優先信号等の改善を
組み合わせ、定時性・速達性の確保や輸送力の増大を可能とした高度なバスシステム

システムとルート

導入ルート

拠点施設(大学、病院、企業等)へのアクセス強化や新たな都市づくりの拠点との連携強化を図るとともに、拡幅整備計画のある県道52号を最大限活用するルートとする



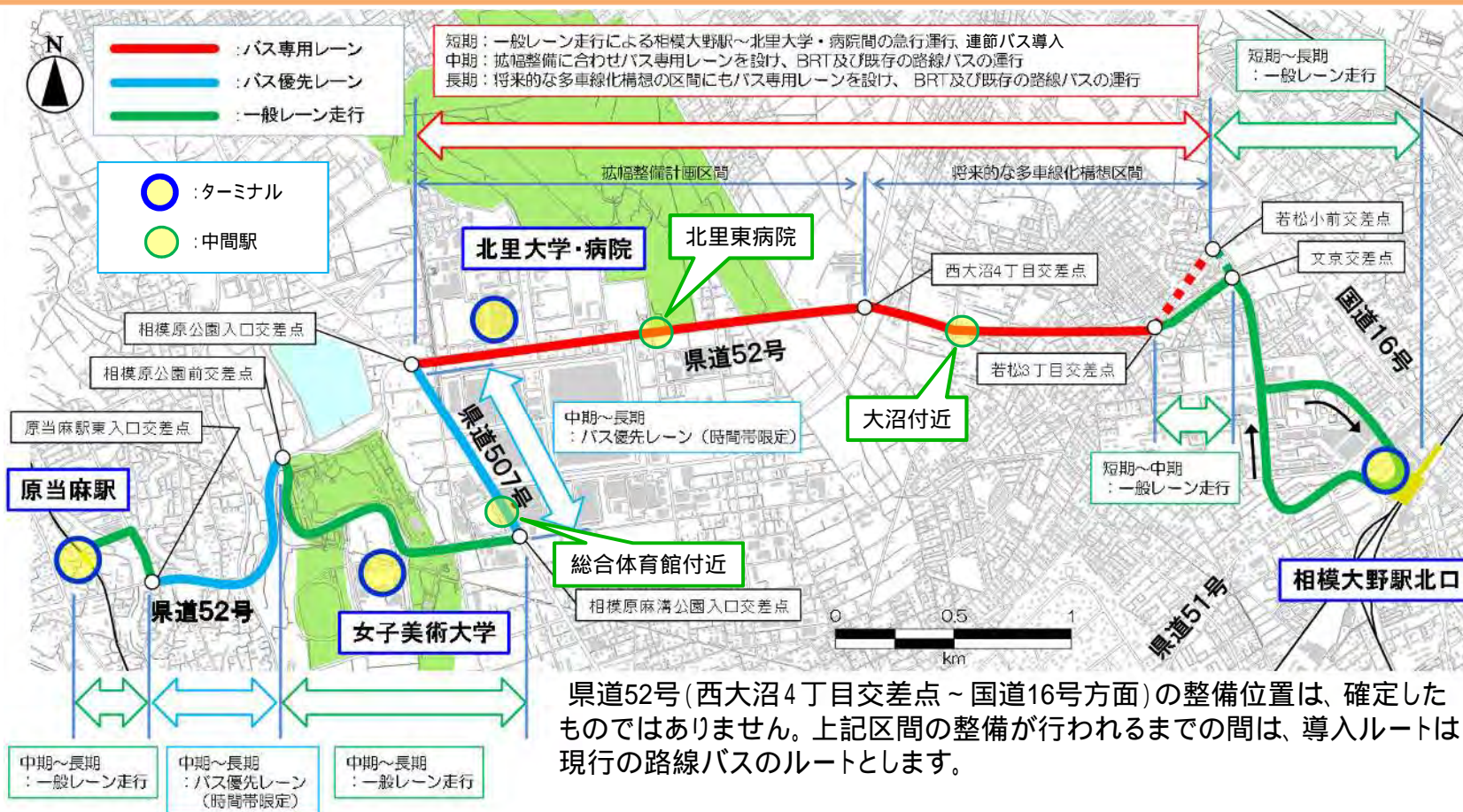
県道52号(西大沼4丁目交差点～国道16号方面)の整備位置は、確定したものではありません。上記区間の整備が行われるまでの間は、導入ルートは現行の路線バスのルートとします。

導入計画

基本的な考え方

県道52号拡幅整備の想定スケジュールを時間軸に設定し、短期・中期・長期での段階的な導入計画とする(時間軸は県道52号の事業進捗により変動)

各段階において、区間ごとにバス専用レーンやバス優先レーン、一般レーンを走行するターミナルの位置を踏まえ、需要と速達性を重視して中間駅を配置する
通常バスと併用しながら、段階的に連節バスを導入する

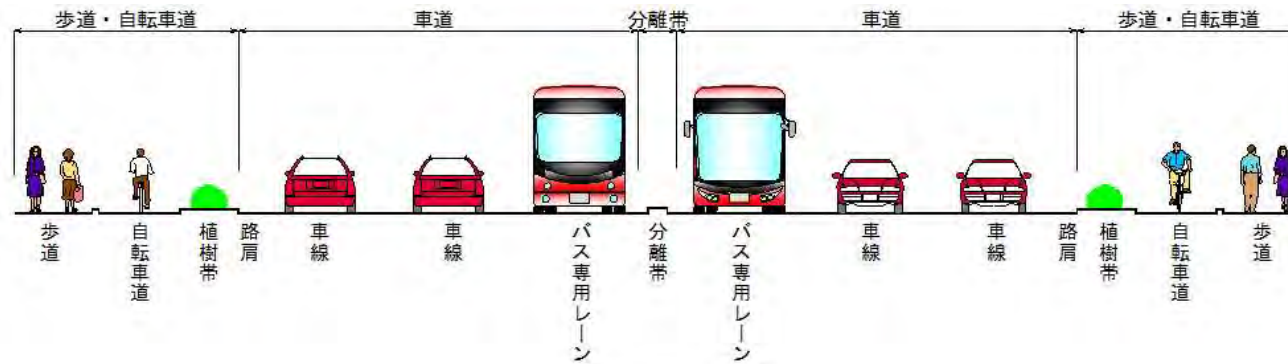


導入計画

施設計画

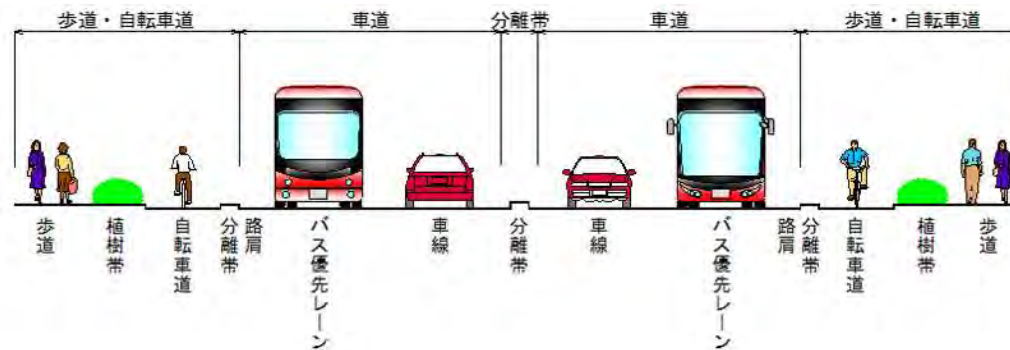
連節バスの円滑な走行と一般交通の安全性・円滑性に配慮した平面・断面計画を検討し、短期・中期・長期の各段階に応じた適切な整備を行う

バス専用レーン ・道路中央走行方式



専用レーンイメージ
(名古屋基幹バス)

バス優先レーン ・時間帯指定、需要に応じて設置



優先レーンイメージ
(岐阜市)

施設計画

バスベイ整備

- ・乗降者数、道路整備計画を考慮
- ・整備効果の高い箇所から整備



整備例(北里東病院バス停)

交差点改良

- ・連節バスの円滑な走行を確保
- ・定時性・速達性を確保するための混雑緩和を図る

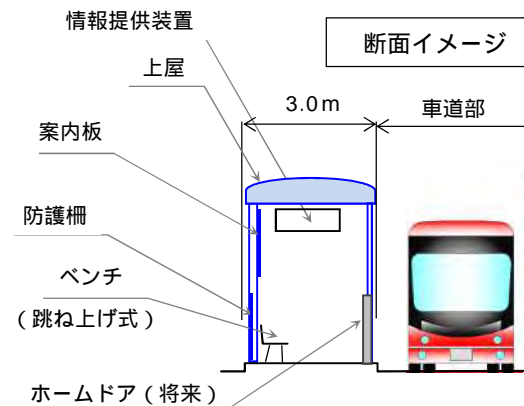
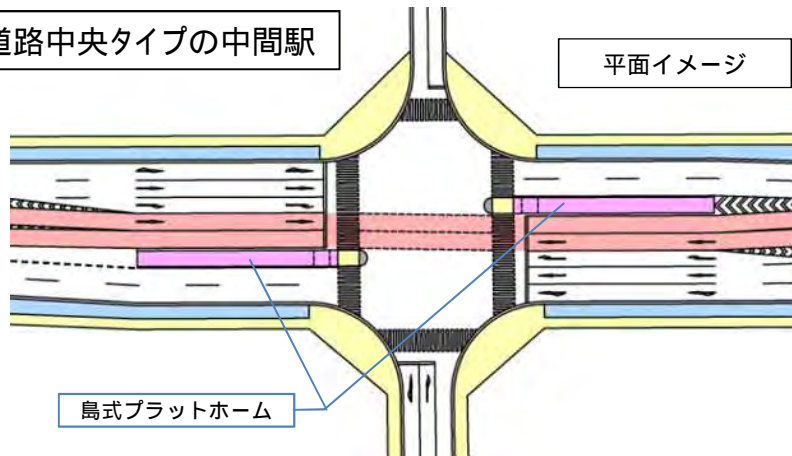


連節バス
(厚木ツインライナー)

ターミナル・中間駅

- ・上屋等により快適な待合空間を創出するとともに、バリアフリー施設を整備
- ・各ターミナルは関係機関等と調整し、BRTの運用に支障のない構造とする
- ・中間駅はBRTの走行位置により道路中央タイプ又は道路路側タイプを適用

道路中央タイプの間中駅



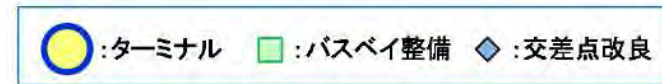
導入計画

導入計画 ~ 短期 ~

目 標 : 相模大野駅 ~ 北里大学・病院間における急行バスでの運行、連節バスの導入
主な取組 : 交差点改良及びバスベイ整備、相模大野駅北口ターミナルの改良・運用変更
駅周辺の自動車流入抑制策、連節バス試験走行による走行環境の検証、
相模大野地区及び麻溝台地区におけるTDM・MM施策

TDM施策 : 自動車利用者の経路や時間帯等の変更により交通行動の変化を促し、混雑緩和を図る施策

MM施策 : 自動車利用者の自発的な意識変化を促すことにより、過度な自動車利用を抑制する施策



導入計画

導入計画 ~ 長期 ~

目標: 全区間で高い定時性・速達性を確保した交通システムの導入
主な取組: バス専用レーンの設置(国道16号方面)、相模大野駅北口~県道52号間及び
県道507号~原当麻駅間における更なる定時性・速達性向上策の検討・実施



導入計画

導入計画 ~ サービス目標 ~

短期、中期、長期の段階ごとに、ピーク時の所要時間と表定速度にて示す

(例) 相模大野駅 ~ 北里大学・病院間
【現況】所要時間25.6分 : 表定速度11.2km/h



【短期】所要時間16.5分 : 表定速度18.2km/h
【中期】所要時間14.8分 : 表定速度20.3km/h
【長期】所要時間12.6分 : 表定速度24.7km/h

導入計画 ~ 全体的な取組 ~

公共交通の利用促進、既存バス路線の再編、麻溝台・新磯野地区や当麻地区における拠点づくりとの連携、市内他拠点との連携や市内他地域での展開 等に取り組む

相模大野駅北口周辺における定時性・速達性の向上策

自動車流入抑制策

【対象車種、エリア、時間帯(案)】

- ・公共交通機関(路線バス、タクシー等)を除く全ての自動車
- ・規制エリアは県道51号から駅方向、駅から県道51号方向
- ・時間帯は、「平日の朝7:00~8:30」を基本

既存バス路線網の再編方針

BRTへの需要転換及び運行ルートにより既存のバス路線を分類し、検討を行う
乗り継ぎに対する抵抗感の低減など地域全体の交通利便性の向上に向けた取組を進める



事業性の検証

需要予測と運行計画

需要予測

「既存バスからの転換需要」と「他の交通手段(自動車・二輪車・自転車)からの転換需要」を予測し合算

相模大野駅～原当麻駅間の需要

- ・中期：約12,000人/日 (既存の路線バスからの転換:約62%)
- ・長期：約12,600人/日 (既存の路線バスからの転換:約64%)

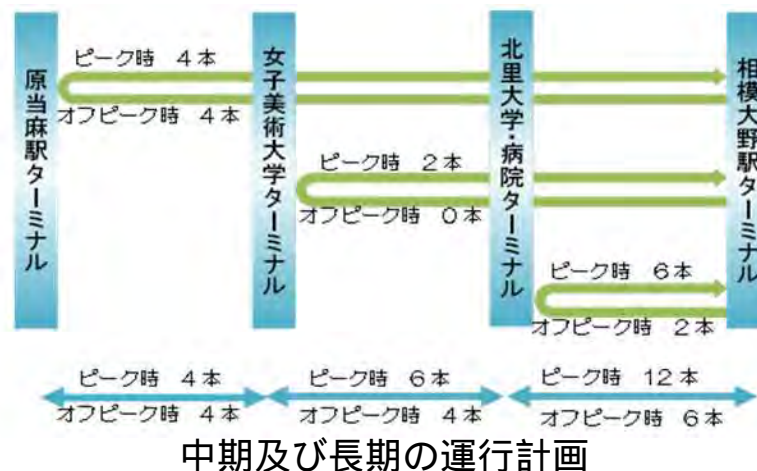
運行計画と必要車両台数

需要とバス交通基本計画に定める幹線バスのサービス水準から、運行間隔を算定

ピーク時の最小運行間隔

(相模大野駅～北里大学・病院)

- ・短期 15分(4本/時)
- ・中期及び長期 5分(12本/時)
- 必要車両台数 (連節バスをみの運行の場合)
- ・短期4台、中期13台、長期11台



事業性の検証

概算事業費と事業手法

概算事業費

短期:約11.1億円、中期:約12.7億円、長期:約1.7億円 合計:約25.6億円

		概算事業費(百万円)				備考
		短期	中期	長期	合計	
インフラ	用地・補償費	708.0	236.0	0.0	944.0	交差点改良、バス停整備
	施設整備費	56.5	295.0	158.0	509.5	交差点等部分改良、ターミナル、中間駅、バス停
インフラ外	車両	288.0	648.0	0.0	936.0	連節バス
	その他施設・設備	59.6	94.2	15.0	168.8	料金收受システム、運行情報案内表示システム、他
合計		1112.1	1273.2	173.0	2558.3	

県道52号及び県道507号の拡幅整備費用は道路事業による整備を想定し、本事業費には含まない

事業手法

道路・中間駅等のインフラの施設整備・費用負担 市
車両購入・インフラ外の施設整備・運行に関する費用負担 民間の運行事業者
事業実施に当たっては、実施主体にかかわらず国の支援制度の活用を検討
連節バス車両の購入等に対しては、一部、市からの補助金を想定

事業性の検証

事業による効果

便益(B)は利用者の所要時間短縮便益のみを対象、
費用(C)は事業費、施設・設備の更新費用、維持管理費を対象として算出
中期:(B/C) = 2.61、長期:(B/C) = 3.46
(B/C) > 1.0となり、社会的便益が期待できる事業であることを確認
拠点間のアクセス性向上等による地域の活性化や、新たな都市づくりの拠点の
魅力向上に資するとともに、自動車からBRTへの乗換えによる交通量の減少に伴う
CO₂の削減などの環境改善も期待

本計画の推進に向けて

進行管理の方針

事業が計画どおり実施されているかを定期的に検証・評価し、
改善していく、PDCAサイクルに基づく進行管理
市、事業者、交通管理者、市民等で構成する組織による、目標
達成度の評価及び施策・事業の進捗状況のモニタリングに基づき、
必要に応じて計画の見直し等を実施

計画推進に向けた取組

地域・地権者との合意形成、導入空間の確保に伴う協議・調整、
BRTの運行・既存バス路線網の再編、マイカーの利用抑制・公共交通利用促進、
まちづくりへの貢献、社会動向・社会経済情勢への対応



【参考】 スケジュール(予定)

9月 パブリックコメント実施
(意見募集期間：9月21日(水)～10月21日(金))

9月 市民説明会
24日(土) 19時～ 南市民ホール
28日(水) 19時～ 相模女子大学グリーンホール
(多目的ホール)

11月 新しい交通システム導入基本計画の策定



担当 : 都市建設局 まちづくり計画部 交通政策課
電話 042-769-8249(直通)